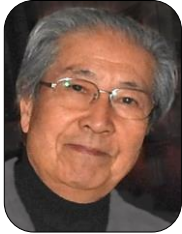




# 美術教育支援協会

発行・編集/事務局 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-20-11 電話：03-3398-9155 FAX: 03-3398-9158  
e-mail: info@npoaes.org HP: npoaes.org

現在会員数:95名(協賛4社)含



## ◆ 理事長あいさつ

谷岡 清

緑爽やかな季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。NPO 美術教育支援協会の活動に対し、毎年温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。年ごとに増すご声援に答えるべく、昨年は新しい企画を二つ試みてみました。

一つは、初夏に開いた連続講座「世界の浮世絵を愉しむ」です。これまでは秋の「土曜フォーラム」のみでしたが、もう少し講演の数を増やして欲しい、とのご要望に応え、「美術フォーラム」として、時期と会場を変えて、夏に行ったものです。親しみやすい浮世絵がテーマということもありましたが、回を追う毎に参加者が増え、お陰さまで満員の盛況となりました。

もう一つは、9月に杉並公会堂小ホールで開いた「落語と美術の出会い」の会です。これは古典落語と美術講演の今までにない画期的なコラボレーションで、テーマは「井戸茶碗」。私が講演で井戸茶碗の美術史的価値を語り、その後に落語真打ちの古今亭志ん彌師匠が「井戸の茶碗」の噺を一席、という構成でしたが、皆様のご支援によってホールが満席になるほどの大盛会で幕を閉じることが出来ました。飛鳥Ⅱの世界クルーズで乗り合わせた師匠と私が意気投合、何か新しいことをやりましょう、と企画したものです。

この新しい二つの試みがともに皆様からご評価をいただきましたので、今年も別途ご案内のように企画を進めています。夏の「美術フォーラム」では、好評浮世絵シリーズをさらに深く踏み込んだ内容で、また落語と美術のコラボ第二弾は、ともに庶民憧れの華「浮世絵と廓噺」をテーマに、江戸耽美の世界を語り尽くす予定です。

恒例の秋の「土曜フォーラム」では、最新取材のアメリカ巨大美術館の膨大なコレクションとその驚異的な内容、アメリカの底力を紹介したいと思います。

以上のように、今年も、NPO 美術教育支援協会一同、全力投球でいきます。ますますのご協力、ご声援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ◆2018年夏の企画『美術フォーラム』は《浮世絵を味わいつくす》です！

■今や世界ブランドの浮世絵を大型スクリーンでじっくり味わい尽くします。

第1回平成30年6月19日(火) 14時～16時15分

「役者絵---美男の系譜」

第2回平成30年6月26日(火) 14時～16時15分

「風景画----旅行案内」

第3回平成30年7月3日(火) 14時～16時15分

「花鳥風月---日本の心」

第4回平成30年7月17日(水) 14時～16時15分

「おんな----美女の系譜」

■参加ご希望の方は下記NPO事務局へ

☎ FAX などでお申込みください。

各回30席で締め切りとなります。

参照：当NPOホームページ (npoaes.org)

当日問合せなど：090-8805-2184 (みのしま携帯)

■講演終了後、講師を囲んで懇親会を行います。

当日会場をご案内いたします(近所です)。

講師からさらに詳しい話が聞けます。是非ご参加ください。

講師 谷岡 清 (当NPO理事長・美術評論家)

会場 千草ビル3F (会場☎ 03-6457-8733)

参加費：各回2000円(当日受付払い) 予約30席です

新宿区新宿3-34-3

☎：03-3398-9155 fax：03-3398-9158

アクセス：JR新宿駅/東京メトロ新宿駅・都営地下鉄新宿駅から下地図を参照。

●美術フォーラムは新宿の千草ビルさまの会場ご協力にて開催いたします。



会場地図

◆ 2018 秋の特別美術フォーラム企画 『落語と美術の出会いⅡ』 (プロジェクター解説と落語)  
 平成 30 年 9 月 27 日(木)14 時開演 決定! (申込み先 ☎ 03-3398-9155)

落語と美術の意外な相性「浮世絵と廓の世界」「幾代餅」を楽しむ  
 解説 谷岡 清 / 落語 古今亭志ん彌師匠

ともに江戸時代の人々に愛された浮世絵と落語。そこにはいくつもの共通点があります。その中で最も華やかで庶民の憧れの的だったのが吉原などの廓の世界。幾代太夫など、着飾った花魁たちの艶姿は江戸の華でもありました。その最高位に君臨する大夫は大名やお大尽でも容易に近づけない存在。そんな高嶺の花を描いた浮世絵の幾代大夫に一目惚れしたのが一介の職人清蔵、飯も喉を通らぬ恋患いとなった。しかし、一念発起。話は思わぬ展開に……。



古今亭志ん彌師匠

浮世絵と古典落語の名作を多角的に楽しんでいただきます。・杉並区の後援申請予定です。

- 杉並公会堂小ホール(杉並区上荻 2-23-15 JR・地下鉄丸の内線 荻窪駅北口青梅街道を環 8 方向に歩 7 分)
- 入場料:一般 2800 円/会員紹介・既参加者 2500 円/NPO 会員 2200 円

(いずれも当日可です。但し満席の場合はお断りする場合があります)

お申込み:NPO 美術教育支援協会事務局 tel:03-3398-9155 fax:03-3398-9158

※申込書はホームページにアップしますダウンロードして FAX してください ⇒ npoaes.org

◆ 2018 秋の土曜フォーラム企画 『世界の美術館の旅 10』 (プロジェクター投影と解説)

※会員の方々、今までご出席の方々には日程が決まり次第、案内書をお送りします。また、ホームページにアップします

2018 年の「土曜フォーラム・世界の美術館 10」も内容充実 乞うご期待! 講師=谷岡 清

昨年の「土曜フォーラム」は、世界の美術館の第 9 弾で、多くの方々にご参加いただき、好評のうちに終了することが出来ました。今年のテーマを決めるため皆様のアンケートのご意見を拝見したところ、世界の美術館シリーズの継続を希望される方が多く、今年も選りすぐった美術館をご紹介しますことにしました。今回はアメリカ巨大美術館の最新情報です。ぜひお誘い合わせの上至宝の数々をお楽しみください。・杉並区の後援申請予定です。

●予定期日:講演会場予約の関係で 2018 年 8 月ごろに決定します。(10~11 月に 4 回開講の予定)

◆第 1 回 『メトロポリタン美術館』 アメリカ・ニューヨーク 14:00~16:30  
 アメリカ最大の美術館。所蔵品 300 万点を誇る。古代エジプト、ギリシャ、ローマ時代の彫刻から、中世、ルネサンス、バロック、ロココ、特に印象派前後の絵画コレクションが秀逸。日本美術にも優れた作品が多く、本場アメリカ美術にも見るべき作品が少なくない。



◆第 2 回 『ニューヨーク近代美術館』 アメリカ・ニューヨーク 14:00~16:30  
 マンハッタンの高層ビルに囲まれた中心街にある近代美術を集めた美術館。かつてピカソの代表作「ゲルニカ」が展示されて話題を呼んだが、スペイン返還後も、優れた近・現代美術を多数蔵し、アメリカでも人気の高い美術館。モネ、ゴッホ、ピカソなどの秀作多数。



◆第 3 回 『バーンズ美術館 他』 アメリカ・フィラデルフィア 14:00~16:30  
 フィラデルフィアのバーンズ美術館やボルチモアのボルチモア美術館などの個人コレクションには、想像を超えた名画・名作がひしめいている。どの部屋も天井に届くほどの数多いルワールやマチスの作品で埋め尽くされており、さすがアメリカ富豪の底力に感服。



◆第 4 回 『ワシントン国立美術館』 アメリカ・ワシントン 14:00~16:30  
 不動産・金融などで巨万の富を築いたメロン財閥の巨大なコレクションと基金を基に 1937 年に設立された国立美術館。中世、ルネサンス、バロック、印象派などを中心に、広くヨーロッパの名作が集められている。中でもアメリカにある唯一のダ・ヴィンチの作品が有名。



- ◆(参加費)NPO 会員(いずれも 4 回分):2,500 円(@700)/以前参加・会員紹介 3,000 円(@800)/一般:3,500 円(@900) (@)は 1 回分
- ◆会場:昨年と同じ荻窪地域区民センターの予定

◆ 昨年 2017 年の活動報告 (夏の美術フォーラム) (落語と美術の出会い) (秋の土曜フォーラム)

◆2017 夏の美術フォーラム 2『世界の浮世絵を愉しむ』の報告

新しい美術講座を開催しました。世界の美術館や博物館を訪ね名品の美の秘密に迫り、好評裡に終了しました。

第1回 平成29年6月9日(金)3時～5時 「浮世絵の誕生—江戸の庶民エネルギーの爆発」

第2回 平成29年6月16日(金)3時～5時 「美人画の悦楽—曲線でなぞる女の艶くらべ」

第3回 平成29年6月23日(金)3時～5時 「役者絵と風景画—対象を切り取る決断の美学」

第4-1回 平成29年6月28日(水)11時～12時40分「北斎美術館見学(入館各自負担)の後、なにわ亭会場へ移動。

第4-2回 平成29年6月28日(水)3時～5時 「世界ブランドになった北斎—  
多彩な北斎芸術を極める」

神田神保町の「和亭なにわ」のお店オープン前に会場をお借りしての美術講演でした。



◆参加費 各回2000円 延べ参加人数: 80名(4日間)

◆ 2017 年の土曜フォーラムに参加して

☆ 秋の土曜フォーラム

鹿島 和子

長かった勤めを辞めた開放感。さて、次は自分の時間有効活用へと数あるカルチャー講座に出てみた。選んだものは作業が伴い、製作、展示、演奏会等と。それなりに充実感や達成感を得たが、年を重ねるにつれ、かなりの体力気力の限界を感じてきた。そこで作業なしの楽して愉しめるものはないかと。そんな折出会えた土曜フォーラム。内容も魅力と、滑り込ませて頂いた。

土曜日の昼下がり荻窪駅前の商店街を後に、やがて落ち着いた住宅界隈を通り抜けると小さな川、野鳥が憩っている。その先こんもり木立の中の区民センター。この佇まい今の私には郷愁の極み。空気までも土の香りを漂わせていてたまらない。

講師の谷岡先生、プロジェクターをご自分で操作しながら膨大な資料を次々とやや早口なれど淀みなくポイント押さえての分かり易い説明。学識高く巧みな話術は、時にウイットに富んだユーモアを交えて寛ぎを。スライドは大変綺麗。

参加者の多くはほぼ同年代。講師谷岡ファンの方々が多い。私は全くの外国オンチ。沖縄より外に出たことが無い。そこで先ず話題の地域を知るために地球儀を買った。先生は現地取材の臨場感溢れるスライドを観せてくださる。ギリシャでは内戦に巻き込まれ、あわや危機脱出のご帰国と。命がけの取材だ。

興味のスライド幾つか。①「始皇帝と大兵馬俑」、そのバリエーションの豊かさ。②高山寺国宝「鳥獣戯画」、絵巻に潜む自画像？

③広重名画「日本橋」を渡る人々の隅っこに2匹の犬？ ④ナイル河兩岸での出土古美術に大きな差異？ 等々。

東西交流の美術講座で私は日本の古代遺産は肌理細かくその美意識の高さは素晴らしいとつくづく思う。

先年山梨バスツアーでの「平山郁夫シルクロード美術館」の圧巻。その折先生小学校時の担任ご高齢女先生が車椅子でのご参加もあって、忘れられない。講義終了後席を変えての懇親会では当日2回目の講義になるとか。先生ご苦勞様。

時空を超えた人類創造の歴史、その文化遺産を映像として目の辺りにした時、人間って凄いと心底思う。土曜フォーラムで沢山勉強した。昔習った名言。「足ることを知って満足する者は富める者と同じである」とはこういうことかと実感。いい時間を過ごせる満足感でいっぱい。参加して10年になりました。

☆ NPOのフォーラムに参加して・・・

片岡 麻利子

私は、夏の美術フォーラム(神保町)の浮世絵の講演で、初めて谷岡先生に出会い、そして歌麿、広重、北斎の作品を深く知ることができました。また落語との異色コラボの企画では、先生から奥深いやきものの歴史を学び、古今亭志ん彌師匠の迫力ある落語を聞くことができ、二重の感動を得ました。

そして秋の土曜フォーラム「世界の美術館の旅 part9」は、パリのオルセー美術館からアテネ、ボストンを巡り日本に帰国する旅で、毎回とても楽しみにしていました。先生の解説は、まず美術館がある街の雰囲気の説明から始まり、建物の構造や特徴を経てゆっくりと中へ・・・その映像には臨場感があって期待がどんどん膨らみます。

先生の講義は一枚の絵を前に技法はもちろん、その時代の人々の生活感や価値観、流行などの説明が始まると、まるで動画を見ている様です。そこに描いた画家の評判やこだわり、容姿や心構え等の紹介が加わると、まるでその作家達とどこかで会った事があるような近親感が湧いてきます。

モネが、光と時間の描き方を北斎から学んだり、他の海外の画家達も日本画から相当影響を受けていたとお聞きして、日本人としては誇らしい気分になります。色々な受胎告知の絵では、聖母マリア、キリストの表現が画家の個性の違いであることを先生の面白い説明からとても楽しく学びました。また、ツタンカーメンの内臓容器には本当に驚いてしまいました。

パルテノン宮殿の破風彫刻の緻密な技法と豊かな表現は、太古の昔の人の偉大さを感じました。11月18日の国立西洋美術館の講義の後、まだその余韻が新鮮なうちに、早速上野へ行ってきました。そこで改めてロダンの彫刻を見上げると、まるで命が宿っているかのようで、地獄には決して落ちたくないと痛感して帰りました(笑)。

これからも続けて受講させて頂き、楽しんで勉強していきたいと思っております。先生、スタッフの皆さまに感謝しつつ、これからもよろしくお願ひいたします。

◆2017 秋の特別土曜フォーラム「落語と美術の出会い」の報告 9 月 9 日(土) ・杉並区後援 於：杉並公会堂小ホール

- ・美術講演「陶磁史から見た井戸茶碗の不思議」 谷岡 清
- ・落語「金明竹」前座 橘家かな文
- ・落語「井戸の茶碗」古今亭志ん彌

始めに古典落語の名作「井戸の茶碗」を日本陶芸史の見地から解説。続いて落語では高麗茶碗の井戸茶碗がおもわぬ事態から細川の殿様の目にとり、驚異の高値で買い上げられてメダタシメダタシとなる楽しいお噺でした。ほぼ満員の 185 名の入場者でした。多くのご感想では次回の企画開催も期待しているとの事でした。

◆参加費：一般 2800 円／会員紹介・既参加者 2500 円／NPO 会員 2200 円



杉並公会堂 講演 谷岡 清

落語 古今亭志ん彌師匠

◆2017 秋の土曜フォーラム 9 の報告

恒例の秋の土曜フォーラムも 9 回目を迎え、益々人気になっております。今回も多くのアンケートの集計結果から下記の 4 講演を開催しました。

- 参加人数は延べ 186 名でした。各日共:14 時～16 時半 講師・谷岡 清
- 第 1 回 平成 29 年 10 月 14 日(土)『オルセー美術館』(フランス・パリ)
  - 第 2 回 平成 29 年 10 月 28 日(土)『アクロポリス美術館』(ギリシャ・アテネ)
  - 第 3 回 平成 29 年 11 月 4 日(土)『ボストン美術館』(アメリカ・ボストン)
  - 第 4 回 平成 29 年 11 月 18 日(土)『国立西洋美術館』(日本・東京)



秋の土曜フォーラム

■(参加費)NPO 会員(いずれも 4 回分): 2,500 円(@700)／以前参加・会員紹介 3,000 円

(@800)／一般:3,500 円(@900) (@)は 1 回分) ・杉並区後援

於:杉並区・第 1 回は杉並区立産業商工会館(杉並区阿佐ヶ谷南 3-2-19)

第 2～4 回は荻窪地域区民センター(東京都杉並区荻窪 2-24-20)



◆ 2017 年度事業報告 2017 (H29) .4.1 ～ 2018 (H30) .3.31

- ‘17/4/1 新年度第 11 期スタート
- 4/2 美術フォーラム打合せ
- 6/2 会報(Vol.9)発行・発送
- 6/9 美術フォーラム①「浮世絵の誕生」(講師・谷岡 清)
- 6/16 " ② 「美人画の悦楽」
- 6/23 " ③ 「役者絵と風景画」
- 6/28 " ④-1 「葛飾北斎美術館ツアー」
- 6/28 " ④-2 「世界ブランドになった北斎」
- 8/2 第 1 回理事会
- 杉並公会堂 開催者事前打合せ

- 9/9 秋の特別土曜フォーラム「落語と美術の出会い」開催
- 杉並公会堂小ホール (講演・谷岡 清/落語・古今亭志ん彌)
- 9/14 第 2 回理事会 土曜フォーラム打合せ
- 9/23 阿佐ヶ谷商工会館打合せ
- 10/14 土曜フォーラム①「オルセー美術館」(講師・谷岡 清)
- 10/28 " ②「アクロポリス美術館」
- 11/1 会報 Vol.10「落語と美術の出会い」感想集発行
- 11/4 " ③ 「ボストン美術館」
- 11/18 " ④ 「国立西洋美術館」
- 12/9 第 3 回理事会
- ‘18 3/8 第 4 回理事会

◆ 事務局より会費納入のお願い

【第 11・12 期会費納入のお願い】 お蔭様で現在 95 名の会員(協賛会社含む)の方々がいっぱいいます。つきましては次年度も変わらず会員継続をお願いします。お手数ですが 11 期の会費がまだの方(H29.4.1～H30.3.31)と新たに 12 期の会費(H30.4.1～H31.3.31)各期 3,000 円を下記へお振込みいただきますようお願いいたします。

(H30.1.1 以降ご加入の会員様は有効期間を H31.3.31 としてお取り扱いいたします)

- 三菱 UFJ 銀行・荻窪支店: 普通 179257 トクテイエイカウトウハウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 三井住友銀行・荻窪支店: 普通 0568070 トクテイエイカウトウハウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 郵便振替 00140-2-318540 トクテイエイカウトウハウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

◆ 事務局長から・今年の(2018 年度 Vol.11) 会報お届けにあたって

今年の東京の桜は桜見物の計画立案を迷っている間に満開となり桜吹雪となってしまいましたが、会員の皆様はお楽しみになれましたか? 今年3昨年9月に開催した杉並公会堂の「落語と美術の出会い」の感想文集(特別会報)を同封させていただきました。

当 NPO の年間企画は今年も谷岡理事長のご案内で夏の企画「美術フォーラム」。秋の特別美術フォーラム「落語と美術の出会いⅡ」、秋の土曜フォーラム「世界の美術館の旅 10」と盛り沢山です。会の後には、講演を更に深めてお知りになりたお方はそれなりに深く!! お酒と歓談のお好きな方もそれなりに話題を楽しんで頂けるような懇親会をご用意させていただきます。

当 NPO にお寄せいただく感想を拝読させていただくと、事務局が期待する以上に感動や感銘を共有いただけているご様子に、今後も頑張らねばとの思いを強くする次第でございます。

全ては NPO 会員、各企画にご参加の皆様並びにボランティアの方々からの温かいお励ましの賜物かと存じます。

これからも長く継続出来るように谷岡理事長以下事務局一同頑張りますので、益々のご支援をよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人美術教育支援協会 理事・事務局長 簗島 紘一